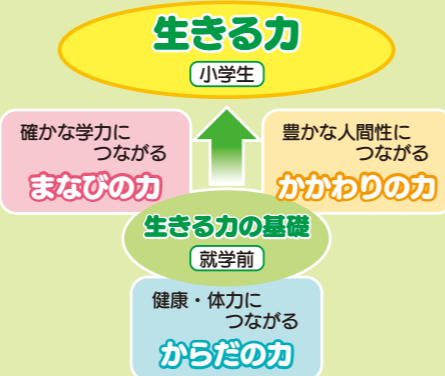


遊びがいっぱい 学びがいっぱい 暮らしがいっぱい

“ながはまっこ”

長浜市の就学前教育では、健やかで心豊かな子ども「生きる力の基礎を身に付けた子どもの育成」を目標に、この時期に身に付けたい3つの力(まなびの力・からだの力・かかわりの力)を「生きる力の基礎」として位置づけ、この3つの力をバランスよく伸ばし、小学校教育からの「生きる力」に繋げていきます。



～まなびの力～

自分で考え、意欲的に学べる力

いろんなことを発見しよう!

表現することを楽しく!



文字や数、量に興味を持とう!

様々な美しさに出会おう!



～からだの力～

健康な心と体で生活できる力

健康で安全な生活をしよう!

食べる楽しさを味わおう



いっぱい体を動かそう

目標をもって挑戦しよう!



～かかわりの力～

相手の思いや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力

友達と楽しく過ごそう!

生命の尊さに気づき、大切にしよう



地域のの人たちに親しもう

友達と一緒にやり遂げよう



主な取組み その①

体と心を育てます!～運動あそびの充実～

自然を生かした体験活動や集団あそび、運動あそびプログラムなどの様々な体を使った活動を通して、基礎的な体力・運動機能の向上や人と関わる力を育てます。



主な取組み その②

豊かな言葉を育てます!～読み聞かせの推進～

絵本やお話しあそびなどを通じた人同士のふれあいのなかで、想像力や言葉の表現・意味の理解、聞く力など、言葉の力やコミュニケーション能力を育てます。



主な取組み その③

ひとり一人を大切に育てます!

～多様性を認め合う教育の充実～

一人ひとりの発達や特性に応じて、きめ細やかな支援をおこなうとともに、関係機関や小学校とも連携を図るなかで、各園での支援体制を充実します。



心のリソースに持たせてあげたい生きる力の基礎

あきらめない力

工夫する力
考える力

人とやりとり
できる力

学童期

できる自信
(達成感)

6歳

小学生、さらに
中学生、高校へ!

愛されている
自信(安心感)

幼児期

5歳

身辺自立がほぼ確定し、仲間意識が芽生え、協調性の育つ時期

自分のことが自分でできるようになることは、自信になり、様々な活動の意欲を高めます。「身支度ができる」、「友達と過ごせる」など子どもの成長を、就学に向けての自信につなげてあげましょう。

4歳

心身のコントロールができるようになり、社会性が身につく時期

競争心も芽生え、友達とのけんかが多くなる時期。「自分を出しながら、人と過ごす」ことを学んでいることを理解し支えましょう。

大きくなるということは…
世界が広がるということ!



園では「生まれてきよかった」、「大きくなって嬉しいな」と感じられるように、みんなでお祝いする誕生会を大切にしています。

家庭で大切にしたいこと

0歳



乳児期



3歳

0～6か月

首が座り、手足の動きは活発に。基本的信頼関係が育つ時期

赤ちゃんにも、何が起きているのかわかるように、「抱っこするよ」、「おむつ替えるね」と伝えて安心につながるようにしましょう。

6か月～1歳3か月

お座り、はいはい、伝い歩きを獲得。周りの物や人に関わろうとする時期

身近なお家の人との安心できる関係づくりが大切です。その後の社会性の発達につながります。子どもとしっかりと愛着・信頼関係を築きましょう。

1歳3か月～2歳

歩行が自立して生活空間が広がり、言葉を話し始める時期

自分の嫌な気持ちが伝えられずに泣いたり、友達を「押す」、「たたく」といったことをしたりすることもあります。それも子どもの気持ちの現れです。そうした気持ちを受け止め、してはいけないことを伝えましょう。

2歳

基本的な運動機能が発達し、自己主張が強くなる時期

「自分でできた」という満足感や自信を得られるようにさりげなく手伝いましょう。

3歳

体の基礎的能力が付き、依存から自立へと移行する時期

「もっと遊んでいたいけれど…(片づけなくちゃ)」。葛藤や友達とのぶつかり合いをたくさん経験しておきたい時期。気持ちを受け止め、気持ちが切り替えられるようにしましょう。